

令和4年度第2回 島田市環境審議会会議録

1. 日時 令和4年8月22日(月) 14時00分～15時30分
2. 会場 島田市役所 会議棟D会議室
3. 出席者 <委員>
平井会長、木村副会長、竹林委員、鈴木浩委員、村上委員、永田委員、増田委員、鈴木昌子委員、山本委員
<事務局>
杉山環境課長、和田課長補佐、杉山係長、渥美主査、後藤主事、小林書記、杉山書記
4. 傍聴人 0人
5. 開会
6. 課長挨拶
7. 議事

(1)令和4年度版環境報告書(案)について

<前回からの修正点を説明>

・質疑応答

(木村委員)

P79 温室効果ガスの種類別排出状況について、温暖化係数を記載してはどうか。

(事務局)

記載する。

(木村委員)

P81の発電設備による発電等の状況について、発電種類にバイオマス(廃棄物)とあるが、田代で焼却している廃棄物全てをバイオマスとみなしているということか。現在の表記だと田代環境プラザで焼却しているもののうちバイオマス分のみ抜き出して記載している印象を受ける。

(事務局)

担当に確認する。

(平井会長)

記載されている数字は田代環境プラザの発電量の一部ではなく全量か。わかれば後日委員へメール等で報告が欲しい。

(事務局)

数字の出し方も含めて確認する。確認後、委員へ連絡する。

(平井会長)

区域施策編の進捗管理はどうしているのか。

(事務局)

P83の2市内からの温室効果ガス排出量が区域施策編の報告となっている。2年に1回算定するごとに更新している。

(平井会長)

わかりにくいので区域施策編であることが明確な説明等があってもよいと思う。

(2)ごみ処理の現状と課題及び解決の方向性について

<答申案について説明>

・質疑応答

(村上委員)

下記の部分について減量目標が達成できない場合とあるが、どれくらいの期間を想定しているか。

(事務局)

市民と協働しての目標設定については2年、周知を1年で実施まで3年。その後実施の年数については内部で調整が必要。

(平井会長)

市民への説明や周知といった流れを記載したロードマップ等を作成して答申と合わせて市長へ渡した方が分かりやすいのではないか。

(事務局)

具体的な流れは市民と協働して決めていくものと考えており、現時点でロードマップを作成することは難しい。

(竹林委員)

市民と議論するとあるが、市民のコンセンサスが一番重要となる。近隣市町でもごみ処理有料化の話があるが、進捗は芳しくないと聞く。理由としては有料化前提だからではないか。上手く進めるには時間をかけて、自治会長を窓口に地域へ入っていくのが良いのではないか。

(事務局)

有料化ありきではないことを伝えていかななくてはならない。また、地域への浸透には市民協働課とも協力してやっていく。

(山本委員)

大まかなスケジュール感があるようなのでやはりロードマップがほしい。あくまで有料化に向けたものではなく、ごみ減量に向けたものを作成するべきではないか。

(村上委員)

目標設定や実施をいつまでに行うといった大まかな予定は出してもいいのではないか。

(事務局)

庁内でも期間については様々な意見がある。調整をしたうえで進捗のイメージを示すことができればと思う。

(木村委員)

ごみ減量の目標設定の仕方を間違えると議論が大変になると思う。市からある程度情報を出さなければ建設的な話し合いとならないのではないかと思う。また、減量を視覚化できるのか。

(事務局)

雑紙の混入を減らすこととキエー口等を利用した生ごみ減量を踏まえたガイドラインのようなものをどこかで出していかなければと考えている。減量の達成度については定期的に行っているごみ質検査や集積所組成調査に現れてくると考えている。

(増田委員)

市民がやるべきことを明確に伝えるべき。目的と目標を明確にして、ロードマップとともに

に示さなければ市民は納得しないのではないかと。逆を言えば、ここまでやれば有料化をしないという点を示すべきではないか。

(平井会長)

一般廃棄物処理基本計画ではどのように規定されているのか。

(事務局)

島田市の一般廃棄物処理基本計画は平成元年に始まったが、有料化については効果的な施策の一つで検討すべきとしているのみ。令和7年度に平成30年を基準として5%削減を目標としている。令和6年に見直しを行うのでその際に今回の話を踏まえて後期計画を策定していく予定。

(竹林委員)

ごみの減量について数値目標を出しても市民には伝わらない。普段の生活で出るごみの削減は難しいため、資源ごみの混入率を下げることを取組にしてはどうか。また、週2袋出していたごみを週1袋にするなど市民がわかりやすいものを目標にしてはどうか。

(鈴木浩委員)

仮に有料化になった際に、減量目標の達成度に応じた価格設定は考えていないのか。

(事務局)

設定することは可能だが、複雑で時間がかかってしまう。やるのであればごみ袋に手数料を加算するやりかたが簡潔でわかりやすいと考えている。

8. その他

(事務局)

今回は11月下旬から12月を計画している。日程が決まり次第連絡する。内容については島田市内で計画されている風力発電事業への意見を伺う予定。

以上